

(事務局)

資料にしたがって、順次概要を説明。

(意見交換)

協議会の運営

- ・容器包装の種類、容器の材質などについての研修会を取り込んだ形の懇談会を開いて欲しい。石けん、非塩ビ系ラップなど、環境にやさしい推奨品を打ち出してはどうか。(エコライフ小豆島)
専門的になると、一般の消費者には少しとつきにくい。事業者との意見交換の場は必要であると考えている。(事務局)
消費者と事業者の懇談会を行うのは良い。ただ、塩ビ系のラップと、非塩ビ系のラップの商品があったとして、非塩ビ系の方を選択する、という材質等の議論も確かに大切だが、「包装しない」ことの方がより大切であるという認識を持つ必要があるのではないか。(会長)
- ・器ではなく、中身を買うのだから、極端な話、皿や丼を家庭から持って行って、そこにに入れて買って買えるというようにすれば良い。(多度津)
- ・昔はそういうところもあったが、そういう小さな販売店に限って潰れていっている。大きいスーパーなどに考えてもらう必要がある。(エコライフ)
- ・カルフル(スーパー)は、フランス式を導入し、ばら売り・裸売りなどの事業展開をしていたが、3ヶ月で撤退になった。ばら売り・裸売りが、日本人には受け入れられなかったことになる。これは環境に対する意識に温度差があるということである。(関会長)
- ・消費者側も、Noと思うなら、買わない。買わないなら売れないので販売者が売らない。売らないならメーカーは作らないという風に社会も変わる。意識を行動に移さなければならない。こちらも、意識改革のために普及啓発に力を入れていく。(事務局)

普及啓発事業

環境にやさしい買い物キャンペーン

- ・出席率の非常に高い自治会でのキャンペーンの周知をしていただきたい。自治会長などに話をしてみても、グリーンコンシューマーの運動について全く知らない。情報が届いていないのではないかと。(東かがわ市)
- ・このような活動についてはほとんど知らないのは事実。行政の働きかけが足りないと思う。(自治会)
- ・市から紹介してもらって自治会で講座をやった。年齢層も幅広く効果的だ。(GC高松)
- ・グリコンの情報誌などは県の広報誌と一緒に全戸配布したらどうか。(多度津)
今年度はエコちゃんカードを全戸配布してもらった市町もある。ただ、行政は分野が多岐にわたっているため、消費者行政のみ特別に広報誌と一緒に全戸配布してもらう、などということは難しい。今後、できるだけメディアを使ってPRするよう検討していく。(事務局)
- ・環境にやさしい買い物キャンペーンの前に、事業者と消費者の懇談会を開いて、特売ウィークに販売する環境にやさしい商品についての話し合いをしたい。(エコライフ小豆島)

レジ袋を減らそうキャンペーン 2005

- ・遠いところにしかない事業者の引換券をもらっても取りにいけない。どうにかならないか。(丸亀)
賞品(品物)を送付する場合、送料が賞品の値段より高くなる場合もある。また、送料に経費がかかりすぎるとの監査での指摘もあり、今年度は引換券の対応ができる事業者については発行をお願いしたところである。抽選に際しては、公平性を考慮して、当選した人については遠いところに住んでいるような人でも引換券を送付した。何件か同様の問い合わせもあったので、来年度については、手法を検討したい。(事務局)
- ・小さいのぼりは店の邪魔になっているのではないか。(丸亀)
今回作ろうとしているのは70cm位のもの。サッカー台に立ててもらう。(事務局)

省エネラベルキャンペーン 2005 夏・冬

特に意見なし

人づくり事業

研修会の開催

- ・来年度は今年度同様に出席講座を積極的に行うなど人づくりに力を入れていきたい。また、従来の学校教員対象の研修会、消費者団体・グループ等主催研修会への支援は廃止する。(事務局)
- ・「食育」が今とてもホットな話題である。食育の話の中にグリーンコンシューマーの視点をいれて、関連付けたような講座ができたなら良い。(GC高松)
- ・課によって得意分野があると思うが、今は、講座や講演にしても、課ごとに単発である。横の連携を各課でとりながら講座等を行った方が効果的で広く浸透するのではないか。(県婦連)
環境学習について、どこの課で何ができるか記載したパンフレットを環境・水政策課で作成中である。その中にグリーンコンシューマーについても記載している。各課で歩み寄れるところは歩み寄っていききたい。また、環境学習を開催している各課が集まってどのようなことをやっているか、連携がどのような形でできるかなどの懇談会を開催している。(事務局)
- ・グリーンコンシューマーという横文字はどうも耳慣れないし、人にも伝えにくい。どうにかならないのか。また、小さい頃から学ぶことが大切だと思うので、学校教育の中に取り込んでいく必要がある。また、グリーンコンシューマー活動にかかる標語を募集してポスターに入れれば効果があると思う。(琴平)
グリーンコンシューマーという言葉は中学生の教科書には載っていて、徐々に浸透はしていていると思うが、まだまだ十分ではない。若い人へのアプローチは今後の重要な課題であるので、子育て支援センター等へ働きかけるなど啓発方法を充実していきたい。(事務局)
- ・出席講座だが、県の人だけでなく、ここにいる皆さんも一緒にしてみてもどうか?(GC高松)
- ・講師としてお手伝いできる人材はいると思う。一緒に取組みたい。(エコライフ)
出席講座もそうだが、単なる知識の持ち帰りになってしまって、それが次に繋がっていかないというのが悩みである。出席講座に同行して、話すことができる部分については皆さんに話してもらうなど、地域で活躍されてはどうか。(事務局)

グリーンコンシューマー協働事業

特に意見なし

グリーンコンシューマー推進員養成講座

- ・養成講座を高松で行うなら遠いし不便。東讃、中讃など地区別に開催してはどうか。(琴平)
- ・教材を作るなど、受講生へのフォローをしっかりといただきたい。(GC高松)
出来る範囲でフォローさせていただくつもりである。また、講師については、県内の講師を招聘し、香川県らしい養成講座としたい。会長にもお願いする予定にしている。なお、選定養成講座については詳細が決まっていない状態なので、決まり次第、お知らせする。(事務局)

その他事業

買い物袋持参率全県調査

- ・買い物袋持参率調査については今後調査方法を変えて行う。(事務局)

その他

- ・クリーニング店のハンガーの回収状況はどうか?(GC高松)
他店のハンガーを持っていても、結局廃棄になっている。(事務局)
- ・その場でハンガーは抜いて持って帰っている。(丸亀)
- ・そもそも袋が大きいし、袋で包んでさらに紙袋に入れて、など、ものすごい包装をしている。クリーニング店でのグリーンコンシューマー運動に力を入れてはどうか。(GC高松)
- ・オープニングセレモニーとはどんなことをするのか。(観音寺)
情報誌に写真が載っているが、関会長や開催市町長に来ていただいて、事前に決めてあるお店でいわゆるセレモニーを行う。児童に鼓笛隊で演奏してもらおうなどもする。(事務局)

食育の話が出たのが、興味深かった。みんな、自分たちの食べ物の安心・安全は考えているが、環境問題など、遠い世代の安全・安心については考えないと思う。(会長)